



平成23年3月31日

各位

会社名 日本アジアグループ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 山下 哲生
(コード番号 3751 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 経営企画本部長 加藤 伸一
TEL (03) 3211-8868 (代表)

平成23年4月期通期 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年6月10日付で公表いたしました平成23年4月期通期連結累計期間(平成22年5月1日～平成23年4月30日)の業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成23年4月期通期 連結業績予想数値の修正(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 67,240	百万円 725	百万円 105	百万円 △110	円 銭 △65.17
今回発表予想 (B)	57,448	△1,578	△2,660	△4,437	△2,628.09
増減額 (B-A)	△9,792	△2,303	△2,765	△4,327	
増減率 (%)	△14.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年4月期通期)	82,782	△2,981	△2,864	3,404	2,023.46

(2) 修正の理由

通期の連結業績につきまして、「金融サービス事業」の証券業におきましては、北アフリカや中近東の政情不安・地政学リスク、東北地方太平洋沖地震等の影響を受け、売買高の減少や株価の急落を招き、その結果、売上高の減少および株式の下落による減益要因が発生しました。

また「技術サービス事業」におきましても、東北地方太平洋沖地震を受けた自治体顧客の被災により、空間情報コンサルティング事業において一部業務の進捗や納品が翌年度に延びたこと、また、グリーン・エネルギー事業においてチェコの国内事情により大規模太陽光発電所(メガソーラー)の案件が遅延したこと等により、売上高および営業利益が当初予想から大幅に減額となる見通しです。

併せて、円高に伴う為替差損や貸倒引当金の計上等に加えて、東北地方太平洋沖地震の影響による機材の損害などの減益要因が発生する見込みです。

前述の要因に加え、東北地方太平洋沖地震の影響による株式の下落等により、投資有価証券の再評価を行なったことなどから、売上高、営業利益、経常利益、当期純損失をそれぞれ下方修正するものです。

なお、引き続き様々な影響を精査中であるため、連結業績予想の差異が多額であることが判明した場合には、速やかに別途開示いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 平成23年4月期配当予想

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成22年6月10日発表)	—	—	—	未定	未定
今回修正予想	—		—	0.00円	0.00円
当期実績	—	0.00円	—		
(ご参考) 前期実績 (平成22年4月期)	—	0.00円	—	0.00円	0.00円

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重視しつつ事業の成長および企業体質強化のための内部留保の充実に総合的に実現すべく、安定配当を行なうことを基本方針としております。

しかしながら、当期の配当予想につきましては、平成22年6月10日付「平成22年4月期 決算短信」にて未定と公表しておりましたが、上記の業績予想を踏まえ、今後の事業展開などを総合的に勘案し、慎重に検討を重ねた結果、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申しあげるとともに、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報による判断に基づき作成したものであり、実際の業績はこれらの予想と異なる場合がありますことをご承知おき願います。

なお当社は個別の業績予想を開示しておりません。

以上